

# 更生保護 あおもり

【第78号】 発行日 平成26年12月1日  
発行者 更生保護法人 青森県更生保護協会 青森市長島1-3-25 電話017(776)6419



【鶴の舞橋・鶴田町】写真提供 五所川原地区  
津軽富士見湖にかかる全長300mのこの橋は、三連太鼓橋  
では日本一長い木橋(青森ひば)です。

## 一人じゃない

青森保護観察所長

辻 博勝

  
あるいは覚えていらっしゃる方も  
おいでではないでしょうか。十年ほど前に「君は一人じゃない」と題した社会を明るくする運動の広報用に製作されたビデオがあり、一人の非行少女が地域の人々との触れ合いにより立ち直っていく姿が描かれていました。

この夏、いくつかの地区的社会を明るくする運動の行事に参加させていただき、犯罪や非行が生まれるもの、そして犯罪をした人や非行に走った少年が立ち直っていくのも、それぞれの地域社会であること、また彼ら自身の更生意欲に加えて地域社会の理解と協力が欠かせないことをつくづく再認識しました。

今でこそ社会を明るくする運動は地域に浸透しつつあります、学校や家庭、地域の中で応援してくれる

人や場が多くはなく立ち直りは言うまでもなく、犯罪や非行の抑止にも大きな力になるという運動の趣旨は当初から変わるものではありません。

ところで、更生保護の業務や活動、例えば保護観察所の業務は一個人の力だけでは立ち行かないものであり、多くの職員が互いに支え合って業務を進めています。また保護司、更生保護女性会、BBS、更生保護法人、協力雇用主など更生保護の関係団体にあっても個々の力がかみ合ってこそ組織として機能していきます。かく言う私自身も日々の業務を進める上で悩んだり、不安を感じたり、困惑することも決して少なくありません。私たち立ち直りを応援する側の人間であっても「一人じゃない」を意識して時には先輩や仲間など周囲の人たちと悩みや不安を共有し解決を図ることも必要なのでしょう。

犯罪や非行に走った人たちはもちろん、人は誰しも一人きりで生きていけるわけではありません。彼らを含む一人一人が集まって地域社会は構成されています。その地域社会の中で皆が「一人じゃない」という意識を持つことができれば、より快適な明るい社会になっていくに違いないと考えています。

## 第47回 青森県更生保護女性連盟

## 秋の集い

日時 平成26年10月8日(水)午前11時～  
会場 五所川原市ふるさと交流圏民センター「オルテンシア」



渋谷 伯龍氏  
(弘前地区保護司)



五所川原地区更生保護女性会  
会長 村元 範子

今年度は五所川原地区更生保護女性会が中心となり開催されました。はじめに保護司でもあります方言研究家・川柳作家の渋谷伯龍氏の「まみしぐ、さがしぐ、あずましぐ」の講話があり、午後から五所川原更生保護女性会村元会長の開式のことばの後、平山五所川原市長が歓迎の挨拶、表彰式、受賞者代表で五所川原地区的和島由美子さんの謝辞、来賓祝辞そして宣言文が披露されました。またアトラクションでは、郷土芸能「十三の砂山」、踊り「南部蝉しぐれ」が披露され盛大に行われました。



# 第64回“社会を明るくする運動”

## ～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～

すべての国民が、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪のない地域社会を築こうとする全国的な運動で、今年で64回目となりました。

犯罪や非行のない地域をつくるために、一人ひとりが考え、参加するきっかけをつくることをを目指しています。

青森県内の各地区でも街頭広報、ポスターの掲示、のぼり旗設置など、地域性を生かした活動に協力いただきました。



【青森地区】地区委員長の青森市長が駅前アウガ前での街頭運動

### 青森地区

#### 横内中学校でのパネルディスカッション、駅前のアウガ前での街頭運動、青森ねぶたへの参加

今年度の地区全体での社明運動は、学校との連携事業として、横内中学校でミニパネルディスカッションを開催しました。参加のべ約400名。中学生からお礼として合唱の披露がありました。

また本年度も、例年どおり駅前アウガ前にて、地区委員長の青森市長が参加し街頭広報、そして、市PTA連合会の協力で、ねぶた祭りに辻青森保護観察所長も参加し、社明広報活動を活発に展開しました。



青森ねぶた祭に参加し、広報活動をした  
(向かって右から天内青森地区保護司会会长・辻所長)

### 弘前地区

#### 弘前大学BBS会、バンドのアトラクション、たか丸くんも参加して賑やかな社明運動を展開

7月6日(日)、メッセージ伝達式及び決起大会が、市民文化交流館ホール(ヒロロ4階)にて、約150名の方が参加し開催されました。弘前大学BBS会によるメッセージ伝達、決意表明、保護司の意見発表、アトラクションとして岩木ファミリーバンドによる演奏が行われました。参加された関係団体、多くの皆様が発表に聞き入り、演奏を楽しまれました。

大会終了後は、街頭でたか丸くんも参加してリーフレットの配布をし、広報活動を行いました。今後は7月の強調月間の一環として、懸垂幕や立て看板、広報車による宣伝活動が行われます。また、小中学生を対象とした作文コンテストの募集を行っています。



## 八戸地区



- (三戸分会) 名久井農業高校で「一龍斎貞花氏の講演と講談の会」を開催  
 (五戸分会) 「虫おくり」と「ビックリ夜店」での啓発広報活動  
 (八戸分会) 市長とジャンプチーム代表が防犯・非行防止の呼びかけ、  
 階上中学校で町長の講演、中学生と保護司との意見交換会

三戸分会では、7月8日、南部町本庁舎前で、法務大臣ならびに青森県知事のメッセージが伝達されました。その後三戸町と田子町でメッセージが伝達され、それぞれの町をティッシュペーパー・うちわを配布しながら巡回しての啓発広報活動が行われました。同日午後からは、県立名久井農業高校で一龍斎貞花氏を招いての「講演と講談の会」が開催されました。その他三戸町での早天童話会を始め多くの集会が開かれました。

五戸分会では、7月9日、五戸町役場に引き続き新郷村役場でのメッセージ伝達式が行われました。豊間内地区「虫おくり」、五戸地区「ビックリ夜店」ではティッシュ・うちわを配布しながら啓発広報活動が行われました。70歳以上を対象とした社明高齢者剣道教室も行われています。

八戸分会では、7月1日、八戸市庁前広場でメッセージの伝達が行われた後、中心街でティッシュ・うちわを配布し、市長とジャンプチーム代表が防犯・非行防止の呼びかけを行いました。また階上地区では、7月8日、階上中学校でメッセージ伝達、町長の講演後、中学生と保護司との意見交換会が行われました。

## 南黒地区



- (構成市町村) 公用車を活用した社明街頭広報活動、中学校に登校する生徒に社明ティッシュを配布。

- (関係町村) 防犯パレードで、社明活動への協力、のぼり旗の設置などの活発な活動。

地区全体で取り組んでいる特徴的な活動としては、構成市町村の公用車を活用した社明街頭広報活動です。公用車にマグネット式の啓発標語を掲載し、テープによる社明広報活動をこれまで年間継続して実施しているところです。

地区内構成首長の絶大な支援と信頼を受け、地道にしっかりと活動を実施できていることは、大変有難いことだと受け止めています。さらに、黒石支部では、市内中学校のJUMPチームや生徒会の協力を受け、期間中に登校する生徒に社明ティッシュを配布しています。そのほか、関係の町村で実施している防犯パレードなどにも積極的に参加し、社明活動への協力とご理解を図るためにしっかりと活動しています。

毎年、強調月間の初日にはのぼり旗の設置や各支部とも首長さんあてに、法務大臣メッセージの伝達をそれぞれの市町村役場で実施しています。



## 河南地区



7月8日「社会を明るくする運動」大鰐町内をパレードする参加者の皆さん

- (平川市) 尾上駅前、平賀駅前、館田駅前、碇ヶ関駅前と柏木農業高校でキャンペーン活動を実施。

- (大鰐町) 大鰐駅等3か所、大鰐町更生保護女性会と合同で駅前キャンペーン活動と街頭パレード。

平川市の主な活動は、7月8日から10日の朝には尾上駅前、平賀駅前、館田駅前、碇ヶ関駅前と柏木農業高等学校生徒玄関前でキャンペーン活動を実施。9日9時から平川市役所前で学校訪問出発式後小学校9校、中学校4校、高校2校を訪問。

- ①法務大臣と青森県知事メッセージ伝達
- ②“社会を明るくする運動”作文コンテストへの応募依頼
- ③河南地区保護観察事件取扱件数が増加傾向にあるので生活指導方のお願いをした。

大鰐町は、7月1日に大鰐駅等3か所で、大鰐町更生保護女性会と合同で駅前キャンペーン活動を行い、高校生らにキャンペーングッズを配布。7月8日午後1時30分から、大鰐中学校全生徒と大鰐町更生保護女性会、各種団体等約300名参加し盛大に町民総決起大会を開催。その後街頭パレードが行われた。



7月9日学校訪問出発式で激励のあいさつをする平川長尾市長と参加者の皆さん

## 五所川原地区



### (鶴田分会)バイパス通りにのぼり旗を設置、「つるたまつり」での町民パレードに参加、大型スーパー店頭においても啓蒙活動を実施

今回は鶴田分会の活動状況を紹介します。

7月13日～31日まで国道339号バイパス通りに社明のぼり旗を設置し、通行者に啓蒙活動を実施しました。

8月14日「つるたまつり」の青少年健全育成町民パレードに参加、社明のぼり旗、チラシ、団扇で町民に啓蒙活動を実施しました。

8月26日町内大型スーパー店頭において、社明のぼり旗、チラシ、団扇で来客者に啓蒙活動を実施しました。



## つがる地区

### つがる市、保護司会、更女会などの共催で社明作文の朗読、吹奏楽部の演奏など「市民集会」を開催



第64回社会を明るくする運動・市民集会が、平成26年7月3日つがる市生涯学習交流センター松の館で、主催・つがる市・つがる地区保護司会・つがる地区更生保護女性会のもと、たくさんの共催と後援のもとに、たくさんの小学生・中学生・高校生・関係市民の参加のもとに実施された。

進行内容の概略として、まず、つがる市長の開会のあいさつに始まり、つがる地区保護司会七戸賢逸会長の法務大臣からのメッセージ、更につがる警察署長の県知事からのメッセージなどが伝達された。

また、小学校三年生長内華さんから社明作文の入賞作品の「おじいちゃんおばあちゃんの笑顔」が朗読発表され大きな拍手を受けた。

続いて、地域の木造高等学校吹奏楽部による「AKB48・恋するフォーチュンクッキー」が演奏され、会場が大いに盛り上がり、市民集会が成功のうちに進められた。

## 鰯ヶ沢地区

### (深浦町)交通安全・青少年非行防止・社明運動の「町民総決起大会」を開催

### (鰯ヶ沢町)交通安全・社明運動の「町民総決起大会」を開催



深浦町では、6月26日(木)交通安全・青少年非行防止・社会を明るくする運動「町民総決起大会」が、鰯ヶ沢町では、7月17日(木)夏の交通安全並びに社会を明るくする運動「町民総決起大会」が開催されました。両日とも好天に恵まれた半日でした。

保育園児による遊戯や鼓笛演奏は、可愛らしさのなかにも緊張感がみられ、拍手喝采でした。社会を明るくする運動の作文で、青森県更生保護協会理事長賞(れんげ賞)を受賞した「非行について」の作文朗読を誰もが真剣に聴いていました。

青森県警察音楽隊による演奏も、参加者を魅了し、感動を味わいました。その後のパレードにも構断幕を持ち参加しました。

心を正し、保護司としての責任と自覚を再確認した半日でした。

## 上十三地区

### 『奥入瀬ろまんパークフェスティバル』にて、十和田管内の関係団体で、青少年の非行防止活動を重点によりかけと、おいらせ町、三沢市でも社明の広報活動を実施

上十三地区保護司会では、平成26年7月5日『奥入瀬ろまんパークフェスティバル』において、十和田管内の関係団体の、十和田地区少年警察ボランティア、十和田第一中学校、十和田西高校JUMPチーム、北里大学少年サポート『Picot十和田』、十和田湖ライオンズクラブ、十和田地区更生保護女性会と、青少年の非行防止活動を重点によりかけました。

当時は、十和田警察署長を先頭に、多くの来場者に、社会を明るくする運動のチラシ・ティッシュ等を配布し、罪を犯した人の立直りを支える支援を理解してもらうための広報活動となりました。

尚、三沢管内でも7月15日おいらせ町で、7月25日三沢市でも広報活動を実施いたしました。



## 野辺地地区

(野辺地町支部) 小・中学校でのおはよう声掛けや「音楽活動家 松尾貴臣コンサート」などを実施

(横浜町支部) 防災無線で呼びかけ

(六ヶ所村支部) のぼり旗設置等

(七戸町支部) 「七戸夏祭り」会場でのPR

(東北町支部) 「かみきた夏まつり」街頭パレード



当地区は、5町村の支部毎にそれぞれのPR活動を展開しております。

横浜町支部では町長へメッセージ伝達や役場防災無線で社明運動の呼びかけの実施。六ヶ所村支部では村長へメッセージ伝達やのぼり旗設置等の実施。七戸町支部ではあいさつ運動に加えて、町内街頭や「七戸夏祭り」期間中の町民が多数参加する会場でのPR活動の実施。東北町支部では「かみきた夏まつり」に社明運動の横断幕等を持っての街頭パレード及び伝達式を行ないました。

野辺地町支部では町内小中学校玄関前でのおはよう声掛け運動や中央公民館での伝達式及び「音楽活動家 松尾貴臣コンサート」実施に加えて、今年初の試みとして昨年度作文コンテスト応募作品の代表者3名による朗読発表を行ない参加者からは深い感動を受けた等多くの声が寄せられました。



## むつ地区

### (むつ) 市長も参加、下北一周愛のキャラバンも兼ねた 社明パレードでは、中学生の吹奏楽部も活躍。

(風間浦村)(大間町)(佐井村)佐井中で活動発表、合唱、吹奏楽「佐井中バンド」の演奏など。

第35回下北一周愛のキャラバンも兼ね7月1日(火)、今年はむつ来さまい館イベントホールAで大湊中学校吹奏楽部の演奏会、その後ホールBで前日むつ市長に就任した宮下市長が外での初公務としてメッセージ伝達式・出発式に出席、パレードにも参加されました。東通村の伝達式後村内、川内・脇野沢庁舎へと広報活動。

7月2日(水)、むつ市大畠庁舎前で「下北一周愛のキャラバン」出発式、風間浦村、大間町、佐井村では、佐井中学校で、樋口村長への伝達式の中で、中学校の活動発表があり、全校合唱、全校吹奏楽

「佐井中バンド」の演奏が披露されました。



## 更生保護法人 青森県更生保護協会

当協会は更生保護の関係団体に助成し、その活動を支援することにより、更生保護の充実発展を目的として設立された特定公益増進法人です。

当協会の事業は、会員の皆様の会費と、篤志家の方々からの支援で運営されています。更生保護の重要性をご理解いただき、当協会の会員として、また、淨財をご寄附いただくことによって、青森県の更生保護を支えていただきますようお願い申し上げます。

### 平成25年度 一般会計収支計算書

収入総額	5,174,856円
支出総額	5,217,123円
当期繰越金	▲42,267円

更生保護法人青森県更生保護協会

収入の部	科目	金額(円)	%	備考
	助成金収入	659,000	13%	就労援助・更生援助・東北地方更生保護協会
	寄附金収入	3,770,000	73%	青森県共同募金会・篤志者寄附金・役員等寄附金
	財産収入	856	0%	預金利息等
	会費収入	686,000	13%	賛助会員・普通会員
	雑収入	59,000	1%	身元保証システム事務手数料等
	収入合計	5,174,856	100%	

支出の部	科目	金額(円)	%	備考
	金品給与費	688,120	13%	更生援助金・歳末たすけあい義捐金・身元保証料
	人件費	1,004,750	19%	職員1名(給与・退職給与引当金・福利厚生)
	事務経費	227,644	4%	旅費交通費・通信運搬費・消耗品費・印刷製本費・雑費
	啓発費	607,795	12%	“社明”広報用品・“社明”作文コンテスト
	連絡調整費	515,454	10%	更生保護関係団体研修参加費・機関紙発行費
	助成費	1,871,200	36%	助成費(県保連・更生保護施設・更生保護女性会・BBS連盟)
	管理費	302,160	6%	会議費・交際費
	支出合計	5,217,123	100%	

### 役員・評議員名簿

役職名	氏名	職業	役職名	氏名	職業
理事長	中村勝弘	(株)サンワード代表取締役社長	評議員	神和子	青森県更生保護女性連盟会長
副理事長	千葉満	学校法人千葉学園理事長	評議員	八木橋満則	無職
副理事長	川嶋勝美	協同組合タッケン理事長(保護司)	評議員	遠間善弘	(株)恵比須屋代表取締役(保護司)
常務理事	田邊孝美	(株)青森テレビ執行役員	評議員	清水邦博	司法書士
理事	木村重治	社会福祉法人鎌重会理事長	評議員	天内修	青森県保護司会連合会会长(保護司)
理事	山口正春	(株)なちゅらる代表取締役	評議員	三浦美枝子	自営業
理事	石田憲久	青森田中学園理事長	評議員	鈴木泰雄	(株)みちのく鑑定事務所代表取締役
理事	藤井洋一郎	無職	評議員	大瀧次男	(有)大瀧地建代表取締役
理事	川島芳正	(株)川島隆太郎建築事務所(保護司)	評議員	柿崎雅美	善知鳥神社宮司
理事	永澤弘夫	(株)永澤興業代表取締役会長	評議員	加川史	県非常勤職員(保護司)
理事	武田隆一	青森ヤクルト販売㈱代表取締役	評議員	沼田桃子	司法書士
理事	石田恒久	弁護士	評議員	佐藤玲惠子	日本生命保険総合会社
理事	黒瀧信行	宗徳寺住職(保護司)	評議員	三浦順子	アイエーネットワーク(株)専務取締役(保護司)
監事	佐藤満廣	平川市教育委員会	評議員	山崎徹	社会福祉法人健誠会月見野園園長
監事	大坂健藏	税理士	評議員	半田秀美	(株)半田硝子建材代表取締役

# 更生保護制度施行65周年記念全国大会

日時 平成26年10月1日(水) 会場 東京国際フォーラム

常陸宮同妃両殿下御臨席の下、標記大会が、保護司、更生保護法人役員、更生保護女性会員、BBS会員、協力雇用主ら約1,500名が参加して開催されました。

各種表彰の授与と、作家の柳田邦男氏による「いのちを映す言葉の源を探して」の記念講演が行われました。

## 「御存知ですか? 身元保証制度」



現在、保護観察を受けていることや、受刑歴が過去半年以内にあることを承知で、それらの人を雇用している事業主について、対象者が就労中の事故等により雇用1年内に雇用主に損害を生じさせた場合、一定の範囲内で、その損害を補償しようとするのが「身元保証制度」です。

制度の活用には、対象者と雇用主双方の了解を得た上で、事前の書面による加入手続が必要です。保護司さんが御担当されている対象者が働き始めた場合や、そのような者を雇用している理解ある事業所など、本制度の活用ができるのでは、というお心当たりがございましたら、青森保護観察所までお知らせください。

保護観察所では、対象者等の就労とそれを支える事業主を応援しています。

常陸宮殿下おことば



本日、更生保護制度施行六十五周年記念全国

大会が行われるに当たり、日ごろこの困難な仕事に力を尽くされている皆さんと一堂に会することを誠に喜ばしく思います。

我が国の更生保護は、保護司を始めとする多くの民間篤志家の献身的な努力によつて支えられてきました。長年にわたり、更生保護の仕事に携わつてこられた多くの関係者の御苦勞に深く敬意を表します。

これまで我が国の社会秩序維持のために大きな役割を果たしてきた更生保護制度のさらなる充実、発展を願つてやみません。

## 白神山地キャンプ

昨年実施した「こども・みらい・サポート事業」の白神山地キャンプが、今年は青森県BBS連盟主催で、10月11日～13日に実施されました。キャンプ計画は、弘前大学や青森大学の学生BBS会員が中心となり、当初の実施予定日は8月9～10日でしたが、台風のため延期となりました。

キャンプ実施直前、日本列島には大型台風19号が接近中であり、再度の延期や中止が考えられましたが、当日は快晴で、無事実施に至りました。

キャンプに参加した小学生は3年生から5年生の総勢12名。実施スタッフとして参加したBBS会員は15名（弘前大学11名、青森大学4名）で、他には、神県B会長、金澤県B監事、中嶋五所川原地区会員（医療班）が参加していました。

学生BBS会員は、おそろいのTシャツに会員の愛称が書かれた名札を付け、全員愛称で呼び合っており、参加した子どもたちに親しみを感じさせるよう配慮していました。



自己紹介の場面では、多少緊張気味だった子どもたちも、ゲームが始まるとBBS会員の指示に従いゲームに没頭し、全員仲良く活動していました。

キャンプ実施に当たっては、企画段階から相当の労力が費やされたはずですが、楽しそうにキャンプをしている子どもたちの姿から、その労力が報われたのではないかと思います。

（中止にならなくて良かったですね。）

（報告者 青森保護観察所企画調整課  
保護観察官 杉野森 信雄）

**次の方々から浄財が寄せられました。厚く御礼申し上げます。**

**(更)青森県更生保護協会 寄附者御芳名**

〈平成25年12月1日～平成26年8月31日〉(敬称略)

〈50万円〉(株)サンワドー 代表取締役社長 中村 勝弘  
 〈20万円〉青森地区保護司会  
 〈15万円〉弘前地区保護司会  
 〈10万円〉宮崎 春子 ・ 遠間 善弘  
 〈8万円〉佐藤 玲恵子  
 〈5万円〉鈴木 道行 ・ 種市 美佐男  
 〈4万円〉木村 重治 ・ 川島 芳正  
 〈3万円〉野辺地地区保護司会  
     むつ下北地区保護司会  
     青森地区更生保護女性会  
     山崎 徹 ・ 清水 邦博  
     八木橋 満則  
 〈2万円〉鰺ヶ沢地区保護司会 ・ 河南地区保護司会  
 〈1万円〉藤林 繁子  
 〈5千円〉齋藤 誠弥

**(更)あすなろ 寄附者御芳名**

〈平成25年12月1日～平成26年8月31日〉(敬称略)

〈15万円〉黒瀧 信行  
 〈10万円〉春藤 安正 ・ 遠間 善弘  
     (株)夢中人 平井茂  
 〈5万円〉佐々木 重昭 ・ むつ地区更生保護女性会  
     青森地区更生保護女性会「みんなのつどい」  
 〈3万円〉赤垣 一夫  
     青森地区更生保護女性会「愛の泉」  
     淨土宗 青森教区保護司会  
 〈2万円〉八戸地区更生保護女性会  
     五所川原地区更生保護女性会  
 〈16,280円〉大畑地区更生保護女性会  
 〈1万円〉田中公子 ・ 久慈 塩原 誓子 ・ 佐々木 博昭  
     おいらせ町地区更生保護女性会  
     青森地区更生保護女性会  
     十和田地区更生保護女性会  
     旭川地区保護司会第七支部  
 〈5千円〉春嶺俳句会  
 〈3千円〉さわやか俳句会

**会員として次の方々からご支援いただきました。厚く御礼申し上げます。**

**(更)青森県更生保護協会 会員御芳名**

〈平成25年12月1日～平成26年8月31日〉(敬称略)

**おめでとうございます。(敬称略)**

**◆平成26年【春の叙勲・褒章】**

**【瑞宝双光章】**

遠間 善弘(青森) 更生保護功労(保護司)  
 佐々木 泰定(むつ下北) 更生保護功労(保護司)  
 山崎 誠一(上十三) 消防功労(保護司)

**【藍綬褒章】**

葛西 満(野辺地) 更生保護功績(保護司)

**○退任保護司 長い間ありがとうございました。**

(平成26年2月28日付け)

山口 啓(青森)	木村 鐵雄(青森)
船水詠子(弘前)	小山内功(弘前)
対馬和子(弘前)	相馬武雄(弘前)
木村愷三(八戸)	坂本映子(八戸)
坂本チヅ子(五所川原)	荒井隆(五所川原)
五十嵐美津子(鰺ヶ沢)	蛭名諭(上十三)
柴崎秀人(野辺地)	川上秀夫(むつ下北)
三宮憲定(むつ下北)	

(平成26年8月31日付け)

佐藤善一(青森)	神和子(青森)
鈴木昭子(青森)	黒滝幸(青森)
藤本美津子(青森)	山内健逸(青森)
下内久元(八戸)	石ヶ森幹雄(八戸)
秋庭紀(五所川原)	成田たけ子(五所川原)
野呂正人(つがる)	坂本徳雄(鰺ヶ沢)

**○依願解嘱**

長岡俊應(むつ下北)	(平成26年2月17日)
石橋修(青森)	(平成26年2月17日)
平山直一(弘前)	(平成26年6月10日)
後藤孝雄(五所川原)	(平成26年7月15日)

**○新任保護司 今後の御活躍を期待します。**

(平成26年3月1日付け)

小山田 隆(青森)	古川 崇(青森)
常田 あきえ(青森)	小笠原 豊(弘前)
小山 幸子(弘前)	稲村 孝司(弘前)
菊池 熏(弘前)	田中 たか子(八戸)
大館 一法(八戸)	越後 秀(八戸)
北村 美恵子(八戸)	福田 浩(八戸)
岡田 寿夫(八戸)	工藤 正日孝(五所川原)
中野 博之(五所川原)	古川 節子(五所川原)
対馬 肇(五所川原)	太田 勝男(上十三)
赤平 光定(上十三)	駒沢 今子(上十三)
沼口 博喜(野辺地)	

(平成26年9月1日付け)

竹山 時彦(青森)	田中 長佳(弘前)
相馬 尚登(弘前)	中村 長政(八戸)
高橋 芳久(八戸)	島脇 通保(八戸)
三浦勝美(八戸)	鳴海 秀彦(八戸)
三笠勝彦(八戸)	清水 健治(八戸)
極檀義昭(八戸)	菊池 つる(河南)
安田 勝司(五所川原)	木村 武三郎(鰺ヶ沢)
兼平晃(鰺ヶ沢)	吉田 政志(鰺ヶ沢)
宮浦基(むつ下北)	

**●敬弔**

ここに生前の御功績を偲び、謹んで哀悼の意を表します。

長岡達雄(八戸)	平成26年5月3日御逝去
大坂正道(青森)	平成26年10月5日御逝去

**【編集後記】**近年、保護司の扱い手を探すのが大変だと。思えば自分も誘われた時、積極的ではなかったな。今年度は、38名の新任の方がいらっしゃる。有り難いですね。恩返しで編集はちょっと積極的にしよう。と思った雪降る青森で。(S.H)